

支援プログラム

事業所理念		児童一人ひとりが尊厳のある生活を将来にわたって送ることができるように支援します。			
支援方針		保護者とともに、遊びを中心とした活動を通じてお子様と深く関わり、心身の発達を促すと共に、ご家庭での療育を支援します。			
営業時間		8 時 30 分から 17 時 15 分まで		送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持・改善（医師による健康チェック、給食摂取量の把握、身体測定、リハビリテーション） ・生活習慣や生活リズムの形成（朝の会、帰りの会、はみがき） ・基本的生活スキルの獲得（トイレトレーニング、医療的ケア児への適切なケア、褥瘡予防のための除圧）			
	運動・感覚	・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上（朝の体操、バランスボール、トランポリン、制作） ・姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用（個々に合った座位保持装置等の提供、自助具を使った活動の実施） ・身体の移動能力の向上（リハビリテーション） ・保有する感覚の活用（トランポリン、シーツブランコ、エアリー、水遊び・プール、パネルシアター、小麦粉遊び、砂場遊び、楽器遊び、足浴） ・感覚の補助及び代行手段の活用、感覚の特性への対応（眼鏡・補聴器等の活用、クールダウンの環境設定）			
	認知・行動	・認知の特性についての理解と対応（バランスボール、オーシャンスイング、片栗粉遊び、制作、香り遊び、絵本） ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得（制作、サーキット遊び、水遊び・プール、外気浴、公園遊び）			
	言語 コミュニケーション	・コミュニケーションの基礎的能力の向上（発声、視線、表情、身体の動き等へのアプローチ） ・言語の受容と表出、言語の形成と活用（絵本の読み聞かせ、手遊び、パネルシアター、ボーリング、ボッチャ） ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得（絵本、ふれあい遊び、パネルシアター、ボッチャ、音楽療法） ・コミュニケーション手段の選択と活用（PECS、絵カード、マカトンサイン、ジェスチャー） ・状況に応じたコミュニケーション（名前呼び、制作）			
	人間関係 社会性	・アタッチメント（愛着）の形成と安定（朝の体操、ふれあい遊び） ・遊びを通じた社会性の発達（絵本、手遊び、ボッチャ、公園遊び、親子分離保育） ・自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加（朝の会、帰りの会、ボールプール、新聞遊び、パラバルーン）			
家族支援		・保護者交流会、勉強会の開催（毎月） ・家族参観（家族交流会）の開催（8月） ・ホームプログラム（家庭において親子で取り組める遊び等）の提供（毎月）		移行支援	・並行利用する保育所等への訪問支援等（保育所等訪問支援事業）
地域支援・地域連携		・地域の保育所や児童発達支援事業所等への訪問支援、巡回相談、電話相談等 ※希望が丘こども医療福祉センター実施		職員の質の向上	・各種研修会、階層別選択研修への参加
主な行事等		<施設外の行事等> ※医師・看護師随行 ・遠足（6月） ・夏祭り（8月） ・プール活動（9月） ・運動会（10月） <施設内の行事等> ・砂場遊び（5月・10月） ・家族参観（8月） ・ハロウィン（11月） ・クリスマス会（12月） ・餅つき（1月） ・節分（2月） ・修了式、卒園式（3月）			